

令和2年6月3日
群馬県農業技術センター
環境部発生予察係(病害虫防除所)
TEL 0270-62-1059

令和2年度 病害虫情報 第1号

この夏のスモモヒメシンクイの増加に注意してください

1 スモモヒメシンクイ (*Grapholita dimorpha* Komai) とは

- (1) 成虫は体長が約7mm、翅は黒褐色のナシヒメシンクイによく似た小さな蛾です(写真1)。群馬県では平成21年にリンゴへの被害が初確認されました。
- (2) リンゴ等の果実に産卵し、ふ化した幼虫は果皮下を食し、直線状、渦巻き状、放射状など多様な食害痕を残します(写真2)。その後加害部が変色、腐敗します。
- (3) 7月下旬以降はリンゴへの飛来が多くなります。

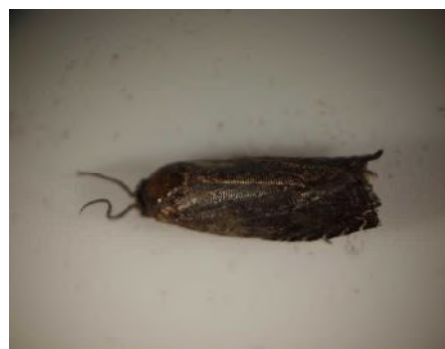


写真1 スモモヒメシンクイ成虫

2 現在までの発生状況

県内のリンゴ園4地点に設置したフェロモントラップについて、5月5半旬までの越冬世代成虫の誘殺数は渋川市、中之条町、みなかみ町の3地点で平年を上回っています(図1~4)。発生時期は平年並です。



写真2 被害果(品種: 陽光)

3 今後の発生傾向

- (1) 過去の誘殺の消長から、6月下旬~7月に第1世代成虫、8月に第2世代成虫、9月に第3世代成虫が発生すると予想されます。越冬世代が多いと今後の世代がさらに多くなり、リンゴへの被害が大きくなるおそれがあります。
- (2) 最新のフェロモントラップ調査結果は、群馬県農業技術センターホームページの病害虫発生予察情報一覧に掲載しています。

→ <https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

4 防除対策および防除上の参考事項

- (1) リンゴの重点防除期は、成虫の飛来が多くなる7月下旬～9月上旬です。
- (2) スモモ園地と隣接するほ場は飛来が多くなりやすいです。
- (3) 農薬の散布は丁寧に行ってください。特にほ場の周縁部など薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布などを行ってください。
- (4) 農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。リンゴでは「シンクイムシ類」で登録されている農薬が使用できます。
- (5) 被害果は放置せず、土中深くに埋めるなどの方法により適切に処分してください。

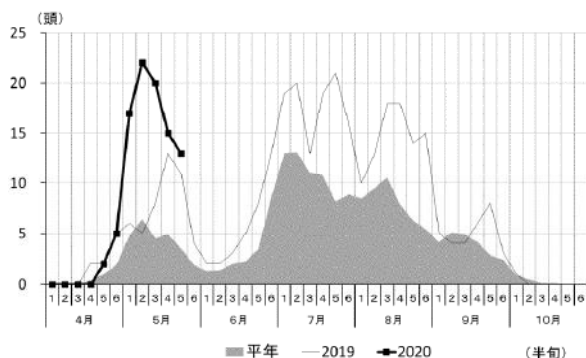


図1 渋川市

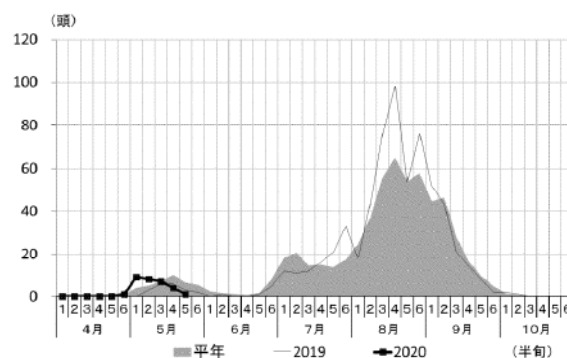


図2 沼田市

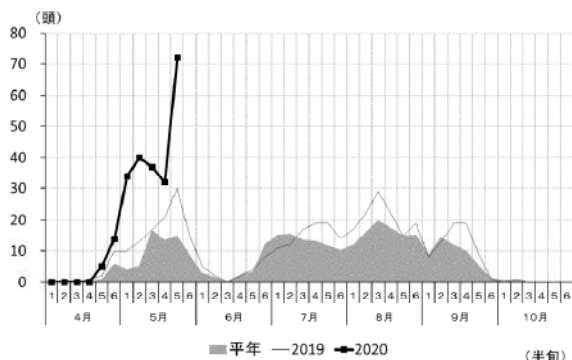


図3 中之条町

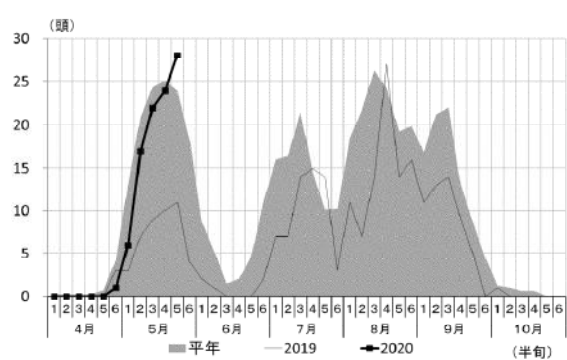


図4 みなかみ町

図1～4 リンゴ園に設置したフェロモントラップへの誘殺数

※平年は過去10年間の平均値